

施策名：結婚・妊娠の希望が叶い、子どもが健やかに生まれ育つ環境の整備

事業名	担当課・室名	ページ
おおいた出会い応援事業	こども未来課	1 / 2
不妊治療費助成事業	こども未来課	1 / 2
周産期医療体制推進事業	健康づくり支援課	1 / 2
小児救急医療体制整備推進事業	医療政策課	2 / 2
子ども医療費助成事業	こども未来課	2 / 2

主要な施策の成果（事務事業評価）令和2年度実績【施策コード：I-1-（2）】

No.	事業名・事業概要・予算額	主な事業内容	活動指標	達成度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	成果指標	達成度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	評価			
1	<b>おおいた出会い応援事業</b> （H27～） こども未来課 未婚化、晩婚化が進行する中、結婚の希望を後押しするため、「出会いサポートセンター」を運営し、市町村、民間団体、企業等と連携した出会いの場づくり等を総合的に実施する。	①出会いサポートセンターの運営 35,470 ②会員確保のための広報 2,138 ③九州地域戦略会議プロジェクトチーム事業（九州・山口各県及び経済界連携） 500	出会いサポートセンター会員数 [人]	目標値	1,200	1,200	1,200	<b>成婚数</b> [累計：組]	目標値	15	<b>30</b>	45	<b>A</b>			
				実績値	1,332	1,695	—		実績値	22	<b>52</b>	—				
				達成率	111.0%	141.3%	—		達成率	146.7%	<b>173.3%</b>	—				
				区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	目標値				事業の成果・今後の方針 これまでは、相手を検索するために、センターまで来所しなければならなかったが、令和2年8月からは、スマートフォン検索ができる機能などを追加し、会員サービスの向上を図った。利便性が向上したことにより、お見合い申請が増加し、お見合い実施回数が増え、成婚へとつながった。 今後は、自宅から会員登録やお見合いが可能となるシステムを構築し、会員の利便性を向上させる。				
				予算	36,351	39,459	38,108	実績値								
				決算	36,334	39,305	—	達成率								

No.	事業名・事業概要・予算額	主な事業内容	事業の成果・今後の方針				
2	<b>不妊治療費助成事業</b> （H15～） こども未来課 不妊治療の経済的負担を軽減するため、保険適用外の特定不妊治療を行う夫婦に対し、市町村と連携して自己負担が概ね3割となるよう助成するとともに、不妊・不育を心配する夫婦に対し、早期の検査受診を促すため、検査費用を助成する。	①特定不妊治療を行った夫婦に対する助成 ②不妊検査を行った夫婦に対する助成 <実施状況>	令和2年10月から、2人目以降の特定不妊治療に対する助成回数を拡大し、子どもを持ちたい夫婦の更なる経済的負担の軽減を図るとともに、不妊検査費の助成を行い、若い夫婦が早期に検査を受診し、必要に応じて、治療へ誘導する環境をつくった。 令和4年度に予定されている保険適用が、現行の助成制度以上に負担が軽減されるよう国に要望していく。				
				区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度
				予算	150,941	242,630	524,087
				決算	145,449	133,958	—

区分	平成30年度	令和元年度	令和2年度
特定不妊治療の助成件数 [件]	489	503	440

No.	事業名・事業概要・予算額	主な事業内容	活動指標	達成度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	成果指標	達成度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	評価
3	<b>周産期医療体制推進事業</b> （H22～） 健康づくり支援課 ハイリスク妊娠・出産や低体重児の出生、産科救急等の高度な周産期医療を県民に提供するため、周産期母子医療センターに対し運営費を助成する。	①周産期母子医療センター運営体制支援事業 47,876 ②新生児医療担当医確保支援事業 1,263 ③周産期医療スキルアップ事業 203	運営費補助施設数 [施設]	目標値	5	4	4	<b>周産期死亡率（出産千対：5年平均）※全国平均以下を目標とするため、令和3年度目標値未記入</b> [人]	目標値	3.5	<b>3.4</b>	—	<b>C</b>
				実績値	5	4	—		実績値	3.9	<b>3.8</b>	—	
				達成率	100.0%	100.0%	—		達成率	88.6%	<b>88.2%</b>	—	
			新生児医師手当補助施設数 [施設]	目標値	4	4	4	事業の成果・今後の方針 周産期死亡率は年によって大きく変動するものの、周産期母子医療センターへの継続的な補助等により、概ね低減傾向にある。直近15年間の5年平均推移：4.6（H18-H22）→4.2（H23-H27）→3.8（H28-R2） 引き続き、周産期医療協議会等と連携して周産期死亡症例の検討を進め、産科医療機関への情報提供を推進し、高度な周産期医療の維持に努める。 ※成果指標の令和2年度実績値は、令和3年9月頃に確定する見込みであり、令和3年6月現在の概数値を記載					
				実績値	5	4	—						
				達成率	125.0%	100.0%	—						
区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	死亡症例検討数	目標値	31	21	21					
予算	93,903	50,359	50,792	実績値	31	21	—						
決算	92,220	49,526	—	達成率	100.0%	100.0%	—						

主要な施策の成果（事務事業評価）令和2年度実績【施策コード：I-1-（2）】

No.	事業名・事業概要・予算額				主な事業内容	活動指標	達成度			成果指標	達成度			評価			
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度			令和元年度	令和2年度	令和3年度		令和元年度	令和2年度	令和3年度				
4	<b>小児救急医療体制整備推進事業</b> (H15～) 医療政策課				①子育て安心救急医療拠点づくり事業 42,628 ②小児救急医療支援事業 28,839 ③小児救急医療電話相談事業 18,225 ④小児初期救急医療体制整備事業 2,657 ⑤小児初期救急センター運営体制支援事業 1,698	小児救急医療体制整備日数 [日]	目標値	366	365	365	<b>小児の二次救急医療体制の整備率</b> [%]	目標値	83.3	<b>83.3</b>	100.0	<b>A</b>	
	実績値	366	365	—			実績値	83.3	<b>83.3</b>	—							
	達成率	100.0%	100.0%	—			達成率	100.0%	<b>100.0%</b>	—							
	区分						令和元年度	令和2年度	令和3年度	事業の成果・今後の方針							
	予算						95,550	94,047	97,018	各地域の実情に応じて、できるだけ身近な地域で対応できるよう、本事業の実施を通じて体制整備に努め、その一環として、子ども救急電話相談を実施し、休日・夜間における子どもの病気やけがに対する保護者の不安軽減にも対応している。							
	決算						94,262	93,035	—	子どもを安心して生み育てられる環境づくりのため、小児救急医療体制の確保は重要であり、小児の二次救急医療体制未整備の西部医療圏について令和3年度から整備するなど、引き続き、小児救急医療体制の整備に努める。							

No.	事業名・事業概要・予算額				主 な 事 業 内 容				事業の成果・今後の方針					
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	区 分				令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度		
5	<b>子ども医療費助成事業</b> (S48～) こども未来課				①子どもの医療費助成を実施する市町村への補助				医療費の助成により、子どもの保健の向上と子育てに伴う経済的負担の軽減が図られ、子どもを安心して産み育てられる環境づくりが促進された。					
	子育て世帯の経済的負担を軽減し、子どもたちの健康保持と健全育成を図るため、子ども医療費を軽減する市町村に対し助成する。								子ども医療費に対する助成事業は、全国すべての市区町村で実施されていることから、国において制度化が必要という考えのもとに制度創設を要望していく。					
	区分				市町村が助成した件数 [件]									
	予算				947,068	730,349	908,897	72,957				68,364		
決算				912,821	704,732	—								